

情報公開文書

研究の名称	胃癌における髄膜癌腫症の臨床学的・病理学的・分子生物学的特徴の検討
研究代表機関	富山大学附属病院
研究責任者 (所属・職名および氏名)	富山大学 学術研究部医学系 内科学第三講座 助教 元尾伊織
①試料・情報の利用目的及び利用方法（他の機関へ提供される場合はその方法を含む。）	<p>この研究は富山大学臨床・疫学研究等に関する倫理審査委員会の承認および研究機関の長の許可を受けて実施しています。</p> <p>【研究の目的・方法】 胃癌では髄膜癌腫症は0.16-0.69%と稀な病態ですが、重篤な神経症状を伴い、急速に進行し、予後は極めて不良です。また、症状も頭痛、嘔気、嘔吐、めまいなど非特異的であり、化学療法の副作用とも考えられるため、診断が遅れてしまうことが多いとされています。胃癌の髄膜癌腫症に対する治療ガイドラインはなく、臨床学的な特徴や治療効果、予後因子についても少数例での報告に限られています。そのため、髄膜癌腫症の臨床学的・病理学的・分子生物学的特徴を把握することで予測因子を同定することができれば、早期診断に繋がり、臨床的意義は大きいと考えられます。</p> <p>本研究では、胃癌における髄膜癌腫症の臨床学的・病理学的・分子生物学的特徴を評価することを目的としました。</p> <p>方法は、後ろ向き観察研究で、対象期間中にの対象患者における患者基本情報、問診情報、身体所見、検査データ、画像所見データ、治療関連データを診療録から収集し、研究責任者が解析します。</p> <p>【研究期間】 実施許可日から2027年3月31日</p> <p>【研究対象者】 2006年1月から2026年3月までに、富山大学附属病院において胃癌の髄膜癌腫症と診断された方</p> <p>【研究資金、利益相反の状況】 なし</p> <p>【個人情報の取扱い】 情報を取得した後は、個人とは無関係な研究用識別番号を付すことで他の情報と照合しなければ個人を識別できないように加工を行います。加工された情報は施錠、パスワードロックによりアクセス権限が制限された内科学第三講座のネットワークに接続されていないパソコンで管理します。本研究では研究用識別番号と診療録IDとの対応表を作成し、パスワードロックによりアクセス制限された内科学第三講座のパソコンで保管します。加工された研究データと対応表はセキュリティ管理上別に保管されます。本研究に関する情報等は研究結果の最終公表後から10年間保管し、紙媒体の裁断または電子ファイルの消去により復元不可能な形で廃棄します。</p> <p>【研究結果の公表の方法】 研究結果は消化器系学会または論文で発表の方針です。</p> <p>【試料・情報の他機関への提供有無】 無</p> <p>【外国にある者への提供について】 該当なし</p>
②利用又は提供する試料・情報の項目	<p>【試料・情報の項目】 本研究に試料は用いません。情報は以下の項目を用います。 性別、生年月日などの基本情報、臨床経過、既往歴などの問診情報、身長、</p>

	体重、体温、血圧、脈拍数などの身体所見、血清総蛋白、血清アルブミン、血清コリンエステラーゼ、血清総コレステロール、血清尿素窒素、血清クレアチニン、血清ALT、血清AST、血清LDH、血清CRP、血球数、尿蛋白、腫瘍マーカーなどの検査データ、内視鏡検査所見、CT検査所見、MRI検査所見などの画像所見データ、病理所見、処方、注射、手術などの治療関連データ、遺伝子パネル検査により検出された遺伝子変異などのデータなど 他機関への提供は行いません。
③利用又は提供を開始する予定日	【利用又は提供を開始する予定日】 実施許可日以降
④試料・情報の提供を行う機関の名称及びその長の氏名	該当なし
⑤提供する試料・情報の取得の方法	該当なし
⑥利用する者の範囲	元尾伊織
⑦試料・情報の管理について責任を有する者の氏名又は名称	富山大学附属病院 病院長 山本 善裕
⑧研究対象者等の求めに応じて、研究対象者が識別される試料・情報の利用又は他の研究機関への提供を停止する旨	研究対象者からの除外（試料・情報の利用または他機関への提供の停止を含む）を希望する場合の申し出、研究資料の開示希望及び個人情報の取り扱いに関する相談等について下記の窓口で対応いたします。 電話 076-434-7301 FAX 076-434-5027 E-mail iori4869@med.u-toyama.ac.jp 担当者所属・氏名 富山大学学術研究部医学系内科学第三講座 元尾伊織